



2024年8月8日

日本鉄道労働組合連合会

## J R 西 日 本 グ ル ー プ 労 働 組 合 連 合 会 第 3 3 回 定 期 大 会 ( J R 西 日 本 連 合 )

J R 西 日 本 連 合 は 7 月 2 6 日、ホ テ ル グ ラ ン ヴ ィ ア 大 阪 ( 大 阪 市 ) に お い て 第 3 3 回 定 期 大 会 を 開 催 し、向 こ う 1 年 間 の 運 動 方 針 を 決 定 す る と と も に、新 年 度 の 活 動 を 牽 引 す る 新 役 員 を 選 出 し た。同 大 会 に は、幹 事 会 役 員 ・ 代 議 員 ・ 傍 聴 者 な ど 約 150 名 が 出 席。J R 連 合 か ら は 荻 山 市 朗 会 長 と 住 吉 一 家 労 働 政 策 局 長 ( グ ル ー プ 労 組 担 当 ) が 参 加 し た。



上村良成議長

冒頭、あいさつに立った上村良成議長 ( J R 連 合 副 会 長 ・ J R 西 労 組 中 央 執 行 委 員 長 ) は、「ご 利 用 者 数 や 経 営 成 績 を 回 復 さ せ た の は J R 西 日 本 連 合 組 合 員 の 努 力 の 成 果 だ」と 強 調 し た う え で、安 全 確 立、労 働 環 境 改 善、春 季 生 活 闘 争、組 織 活 性 化 な ど に 対 す る 所 信 を 述 べ た。特 に、コ ロ ナ 禍 で 入 社 し た 世 代 は 誰 が 同 期 か も 分 か ら ない 状 況 で あ る こ と を 踏 ま え、こ の 1 年 で コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン を 図 れ る 機 会 が 再 開 さ れ て い る こ と か ら、仲 間 と の 絆 を 取 り 戻 す 活 動 の 展 開 を 要 請 し た。

来賓としてあいさつした荻山会長は、直近の J R 連 合 の 取 り 組 み を 紹 介 す る 中 で、感 電 ・ 墜 落 ・ 触 車 に よ る 死 亡 事 故 は 過 去 か ら 繰 り 返 し 発 生 し て い る 類 型 の も の で あ り、10 月 4 日 に は 安 全 シ ン ポ ジ ウ ム を 開 催 し、安 全 確 立 の 取 り 組 み に 一 層 注 力 す る 考 え を 示 し た。ま た、労 働 基 準 関 係 法 制 の 見 直 し の 動 き に 対 し て、一 部 で は 労 働 者 保 護 の 後 退 を 招 き か ね ない 意 見 も あ り、「労 働 組 合 が 身 を も っ て 役 割 を 発 揮 す る こ と が 大 切 だ」と 訴 え た。



荻山市朗会長

議 事 で は、執 行 部 が 活 動 経 過 報 告 や 運 動 方 針 案 な ど を 提 起 し た 後、4 名 の 代 議 員 が 質 疑 に 立 ち、令 和 6 年 能 登 半 島 地 震 へ の 対 応、安 全 確 立 の 取 り 組 み、人 手 不 足 ・ 離 職 防 止 ・ 外 国 人 採 用 の 課 題、2 0 2 4 春 闘 や 労 働 条 件 改 善 の 取 り 組 み、労 務 費 の 価 格 転 嫁 の 課 題 な ど 多 くの 意 見 が 寄 せ ら れ、執 行 部 答 弁 ・ 川 原 孝 義 事 務 局 長 の 集 約 答 弁 を 経 て、全 議 案 が 満 場 一 致 で 承 認 さ れ た。

役 員 選 出 で は、上 村 議 長 ・ 川 原 事 務 局 長 を は じ め 全 役 員 が 再 任 さ れ、新 年 度 の 運 動 を 牽 引 す る 体 制 が 確 立 さ れ た。



最 後 に、「各 単 組 と の 連 携 の も と、労 使 の 信 頼 関 係 を 基 礎 に、組 合 員 と 家 族 の 幸 せ を 増 進 す べ く、負 託 に 応 え る 責 任 あ る 運 動 を 進 め て い く」と 決 意 し た 大 会 宣 言 を 採 択 し、上 村 議 長 の 団 結 が ん ば ろ う で 大 会 を 締 め く っ た。